

新型インフルエンザ対策は万全か

筑井 あけみ 議員



Q 新型インフルエンザから町民を守るためには、今、何が必要なのか。現実となれば、主体的に関わる担当はどこか。拡大に備え、対策本部などを設置する考えがあるのか。町の取り組みを伺う。

A 町長 4月30日に、町長を本部長とする「玉村町新型インフルエンザ危機管理対策本部」を設

Q 町長 5月26日現在に当たる1万2600世帯が申請済みである。支給に

Q 町長 5月26日現在に当たる1万2600世帯が申請済みである。支給に



役場正面玄関前に設置された新型インフルエンザ対策コーナー

A 町長 始まった頃は急激な人口増加の時期だった。新旧住民の交流の場をつくる目的だった。今年、玉村小学校で

下水道行政、五料・飯倉・川井地区の計画は

島田 榮一 議員



Q 下水道事業が供用開始されて20数年が経つ。しかし、五料、飯倉、川井地区においては、接続された箇所は1カ所もなく、今後先が見えない。計画はどのようになっているか。

A 町長 次の認可区域の拡大が平成23年度に予定されており、市街化区域がほぼ完了する。財政面、効率性などを検討し、

Q 町長 平成20年度末で68・9%である。これは合併浄化槽の整備人口を足した数字である。

A 町長 農道、生活道路の劣化が著しい。計画性を持って工事に着手する時期に来ているのではないか。



玉村町の花と木、地名伝説が描かれた下水道マンホール